

小中一貫教育 ● 連載 No.28 ●

スタートから3年目を迎えた学校の姿



■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-22227

平成25年4月に開校した市内3小中一貫校。今月号は、小中一貫教育3年目を迎えた東部校の現状と特色ある取り組みを紹介します。

小中一貫 東原席舎 東部校 (東部小学校・東部中学校)



古賀校長

多久市東多久町大字別府3182
☎76-2002 (小) 76-2007 (中)
☎76-3917 (共通)
学校 HP http://school.one23.net/~taku_tobu/

創 立 平成25年4月1日
校 長 古賀 一哉 副校長 釘本 浩
教 頭 下村 直樹 (小) 福山 信正 (中)
教職員数 47人

【学校の特徴】

- 施設一体型(小中合同職員室)の小中一貫校である。
- やさしく元気で素直な子どもが多い。
- 「生と死を考える授業」を実践している。
- 地域の協力の中で、さまざまな体験活動を実践している。
- ボランティア活動が充実している。
- 学校教育を支援する地域応援団が組織化されている。

【学級編制一覧(平成27年5月1日現在)】

学 年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	小支援	中支援
学 級 数	2	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2
児童生徒数	44	41	33	30	40	39	29	41	55	10	4
小 学 部	237人		中 学 部		129人		総 計		366人		
部 活 動	女子バレー部（11人）、剣道部（14人）、野球部（12人） サッカー部（24人）、柔道部（7人）、 ソフトボール部（13人）、総合文化部（13人）										

【学校経営の基本方針】

- 一人一人の教職員が一貫校としての意識を高く持ち「凡事徹底」を合言葉として取り組む。
 ①小中一貫校の担う責務に対しての自覚を高め、資質向上を図るために、教職員の研修を充実させる。
 ②人間関係形成能力を育てる親和的な学級集団づくりと組織的対応の充実した生徒指導を推進する。

- ③9年間を見通したカリキュラムにより、学習意欲向上と学習規律を確立させて学力の向上を図る。
 ④「生と死を考える授業」を柱として、命と生き方を考えさせ、心の教育を充実させる。
 ⑤部活動及び体育授業を中心に運動の楽しさを十分に味わわせ、運動の生活化を図る。
 ⑥地域に根ざした特色ある教育活動を積極的に展開し、信頼される学校づくりに努めていく。

7月の定例教育委員会のお知らせ

日時 7月8日(水) 13時30分
場所 市役所 大会議室東(自由に傍聴できます)
■問い合わせ 教育委員会 教育総務課 ☎75-13450

【教育目標】

思いやりの心を持ち
学ぶ意欲に満ちた
児童生徒の育成

「誠実」
「夢」
「実践」

【校内研究の目標】
人とかかわりあう中で、わかる・できる喜びを実感する小中一貫教育の創造
一人ひとりの学習意欲を育む学級集団づくり

【特色ある教育活動】

- ①ルールの遵守とリレーションによる融和が確立された学級づくりの実践
- ②小中の滑らかな接続をめざした小中相互乗り入れ授業等実践の充実
- ③前期(1～4年生)・中期(5～7年生)・後期(8～9年生)の節目を意識させる計画的な行事の推進
- ④効果的で、無理なく長続きする異学年交流行事等の計画的な推進
- ⑤「生と死を考える授業」を柱として、命と生き方を考え、他を思いやる心・感謝の心を育成
- ⑥絆を深めコミュニケーション能力を培う特別活動の推進

夏休み教育キャンプ in 船山 2015

船山での自然とのかかわりを通じて、自分の役割と責任を学び仲間とのふれあいの中で夏休みの思い出づくりをしよう!

- 日 時 8月6日(木)～8日(土)
 ■会 場 船山キャンプ場
 ※荒天時は西多久公民館
 ■内 容 生活・自然体験活動
 ■対 象 者 市内小学4～6年生
 ■申込方法 申込用紙は各学校で配布します。
 内容記入のうえ学校へ提出してください。
 (申込用紙は各町公民館にも置いてあります)
 ■参 加 費 1人2,200円(食材費など)
 ■締 切 日 7月10日(金)まで 生涯学習課へ必着
 ■問い合わせ 生涯学習課(中央公民館内) ☎74-3241